

# 新たな総合計画に関する市民意識調査

報告書

【概要版】

平成27年7月

川崎市総合企画局



## 目 次

I.	調査の概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査方法と回収状況	1
3.	調査項目	1
II.	調査回答者の属性	2
1.	本市市民意識調査	2
2.	他都市市民意識調査（政令市比較）	3
III.	調査結果のまとめ	4
1.	本市市民意識調査	4
2.	他都市市民意識調査（政令市比較）	7
3.	川崎市と政令市平均との比較	12

## I. 調査の概要

### 1. 調査の目的

- 川崎市の新しい総合計画を策定するのに当たり、市民生活やまちづくりに関するいくつかのテーマについて、市民の生活意識や市政に対する意識等を調査し、計画策定の参考資料とすることを目的として、「新しい総合計画に関する市民アンケート調査」を実施した。
- 川崎市民に対する調査（本市市民意識調査）を実施するとともに、川崎市を含む全国 20 政令指定都市において調査（他都市市民意識調査（政令市比較））を実施し、それらを比較・分析することにより、川崎市民の意識の特性・地域性を明らかにし、新しい総合計画策定の参考資料とすることも目的とする。

### 2. 調査方法と回収状況

	本市市民意識調査	他都市市民意識調査（政令市比較）
調査対象	川崎市在住の満 20 歳以上の男女個人 3,000 人	川崎市を含む全国 20 政令指定都市の満 20 歳以上 70 歳未満の男女個人各約 700 人
標本の抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出	都市ごとに WEB モニターを募集し、性別・年代別に割当
調査方法	郵送によるアンケート調査	WEB によるアンケート調査
調査期間	平成 27 年 2 月 9 日（月）～2 月 28 日（土）	平成 27 年 2 月 9 日（月）～2 月 28 日（土）
回収状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発送数：3,000 件</li> <li>・ 有効回収数：1,204 件</li> <li>・ 有効回収率：40.1%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 有効回収数：13,619 件 （調査期間中に割当ができた件数）</li> <li>・ 有効回収率：97.3%</li> </ul>

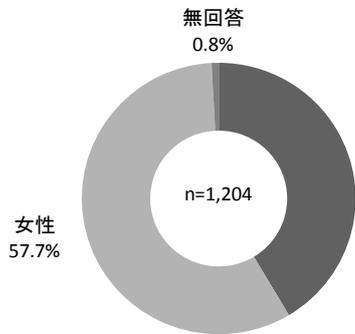
### 3. 調査項目

<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 災害に強いまちづくりについて</li> <li>(2) 安全・安心な日常生活について</li> <li>(3) 上下水道について</li> <li>(4) 高齢者や障害者がいきいきと生活できる環境について</li> <li>(5) 社会保障制度に基づく市の取組について</li> <li>(6) 医療の体制について</li> <li>(7) 子育て環境について</li> <li>(8) 生涯学習について</li> <li>(9) 環境への配慮について</li> <li>(10) 地球環境の保護について</li> <li>(11) 自然や公園について</li> <li>(12) 住環境（住みやすさ）について</li> <li>(13) 働きやすさ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(14) 産業について</li> <li>(15) 新しいビジネスの創出について</li> <li>(16) ICT（情報通信技術）の活用について</li> <li>(17) 臨海部の経済活動について ※札幌市、さいたま市、相模原市、京都市は除く</li> <li>(18) 市内の拠点駅の周辺の状況について</li> <li>(19) 美しいまち並みの保存について</li> <li>(20) 交通利便性について</li> <li>(21) 文化・芸術、スポーツについて ※政令市調査のみ「川崎市・当市のイメージについて」を追加</li> <li>(22) 地域での活動や広報・公聴について</li> <li>(23) 区の行政サービスについて</li> <li>(24) 人権や平和に対する意識について</li> </ul>
---	---

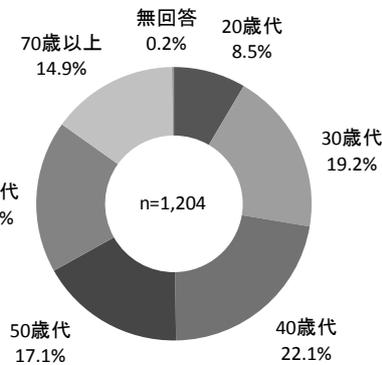
## II. 調査回答者の属性

### 1. 本市市民意識調査

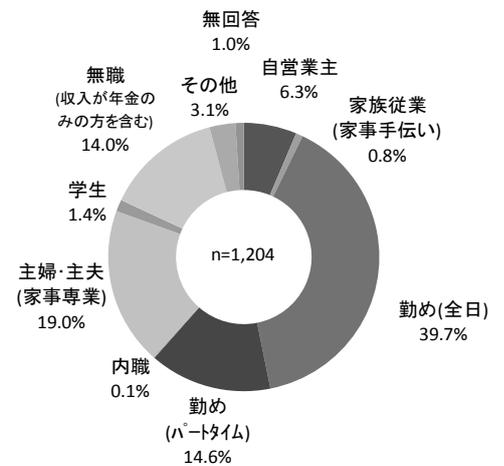
#### (1) 性別



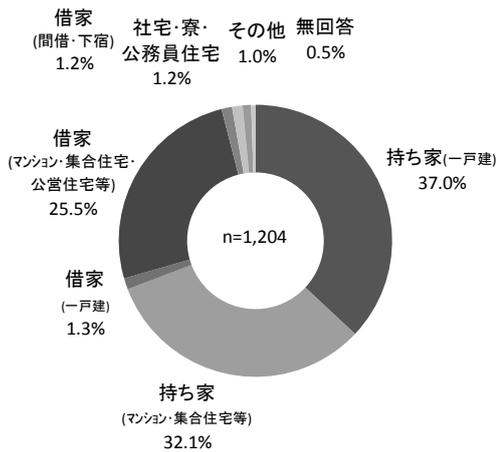
#### (2) 年齢



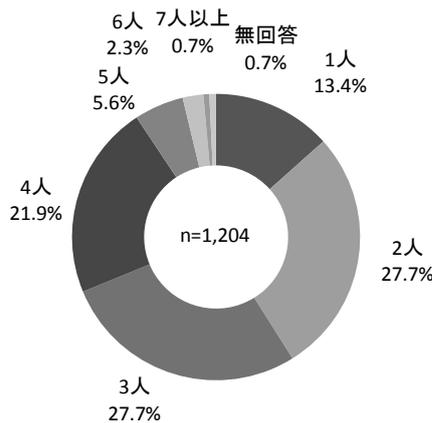
#### (3) 職業



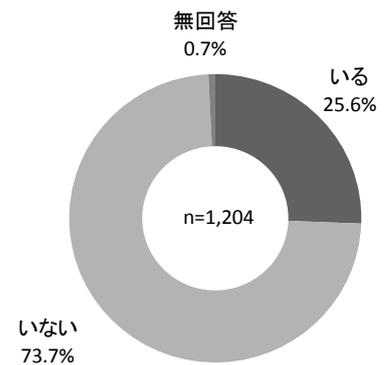
#### (4) 住居形態



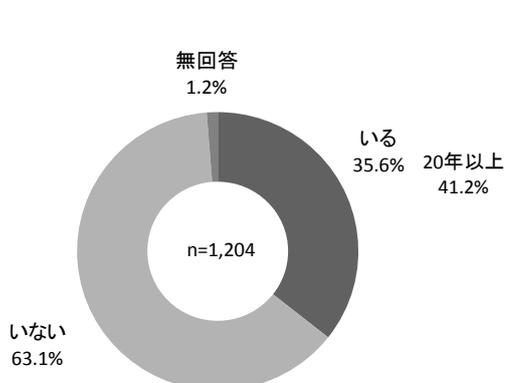
#### (5) 同居家族



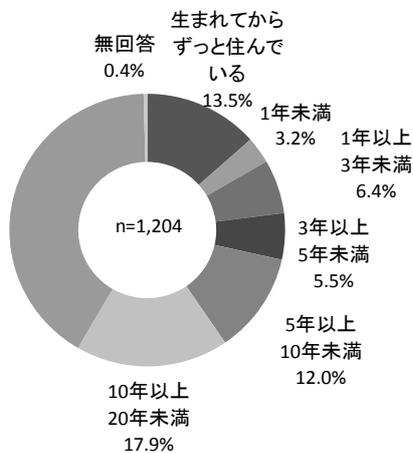
#### ①中学生以下の子どもの同居



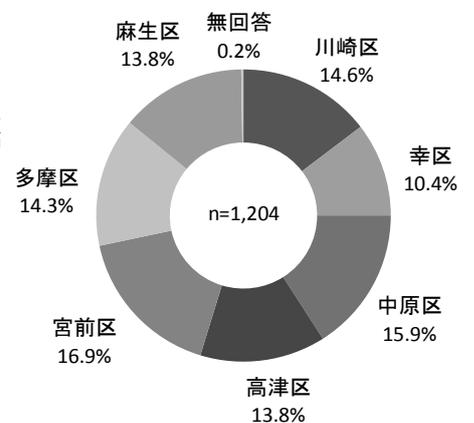
#### ②65歳以上の高齢者の同居の有無



#### (6) 居住年数

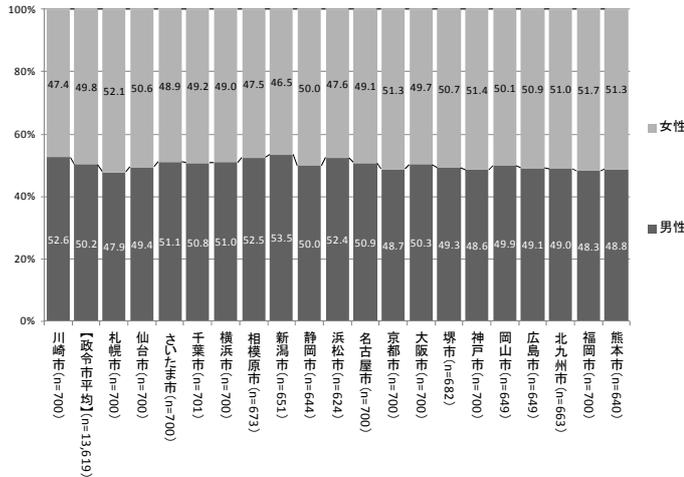


#### (7) 居住区

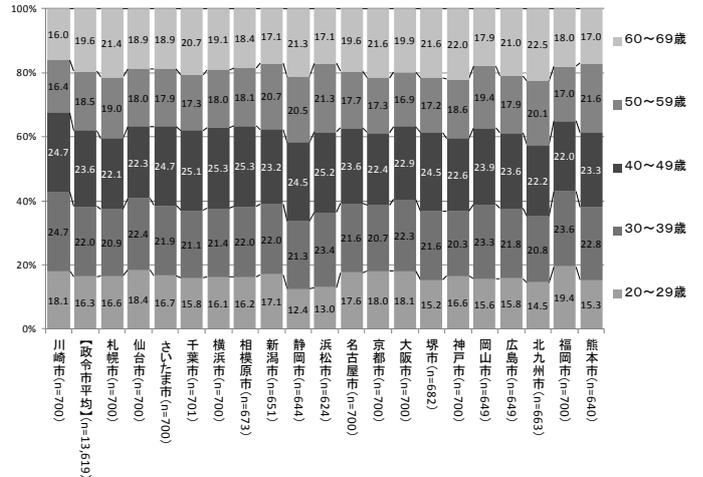


## 2. 他都市市民意識調査（政令市比較）

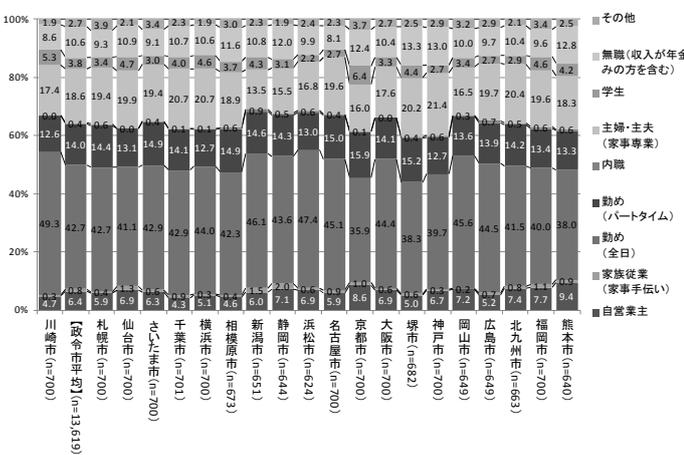
### （1）性別



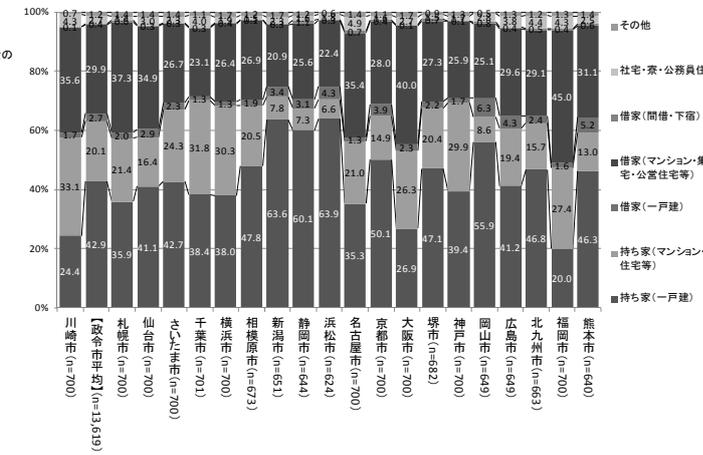
### （2）年齢



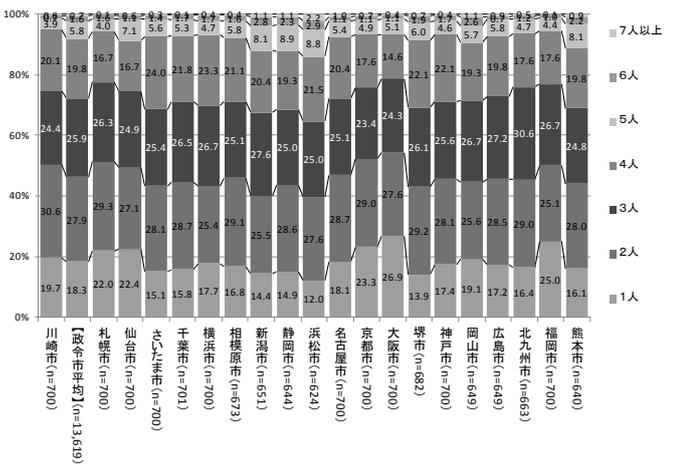
### （3）職業



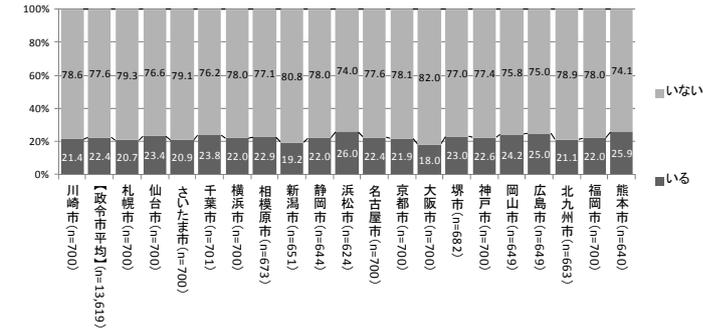
### （4）居住形態



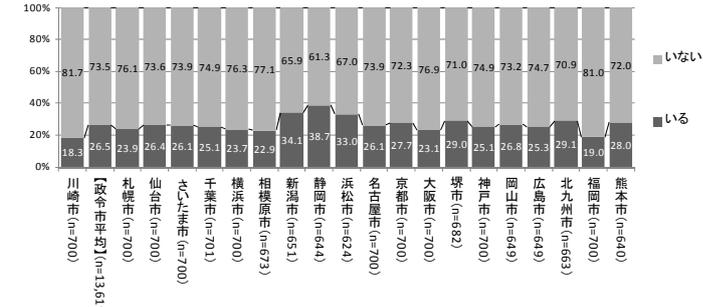
### （5）同居家族



### ①中学生以下の子どもの同居



### ②65歳以上の高齢者の同居



### III. 調査結果のまとめ

#### 1. 本市市民意識調査

- ・全体の設問に関して、「そう思う」「やや思う」に該当する回答を『積極的評価』、「やや思わない」「思わない」に該当する回答を『消極的評価』としてまとめ、全体の傾向を把握した。

#### ■ 積極的評価

- ・『積極的評価』が多いのは、「ごみを減らす取組」(86.6%)、「市内の拠点駅の状況」(70.0%)、「交通便利性」(62.0%)、「上下水道サービス」(60.6%)、「住環境(住みやすさ)」(59.6%)、「市内の空気や川などの水」(55.6%)などである。利便性やインフラなどの都市環境、住みやすさや衛生などの生活環境に関する項目で、積極的な評価が多い傾向が見られる。

#### ■ 消極的評価

- ・『消極的評価』が多いのは、「災害への事前の備え」(38.3%)、「美しいまち並みの保存」(30.2%)、「市政への意見を伝える機会」(29.7%)、「子育て環境」(29.4%)、「高齢者や障害者の生活環境」(28.7%)、「新しいビジネスの創出」(26.3%)などである。

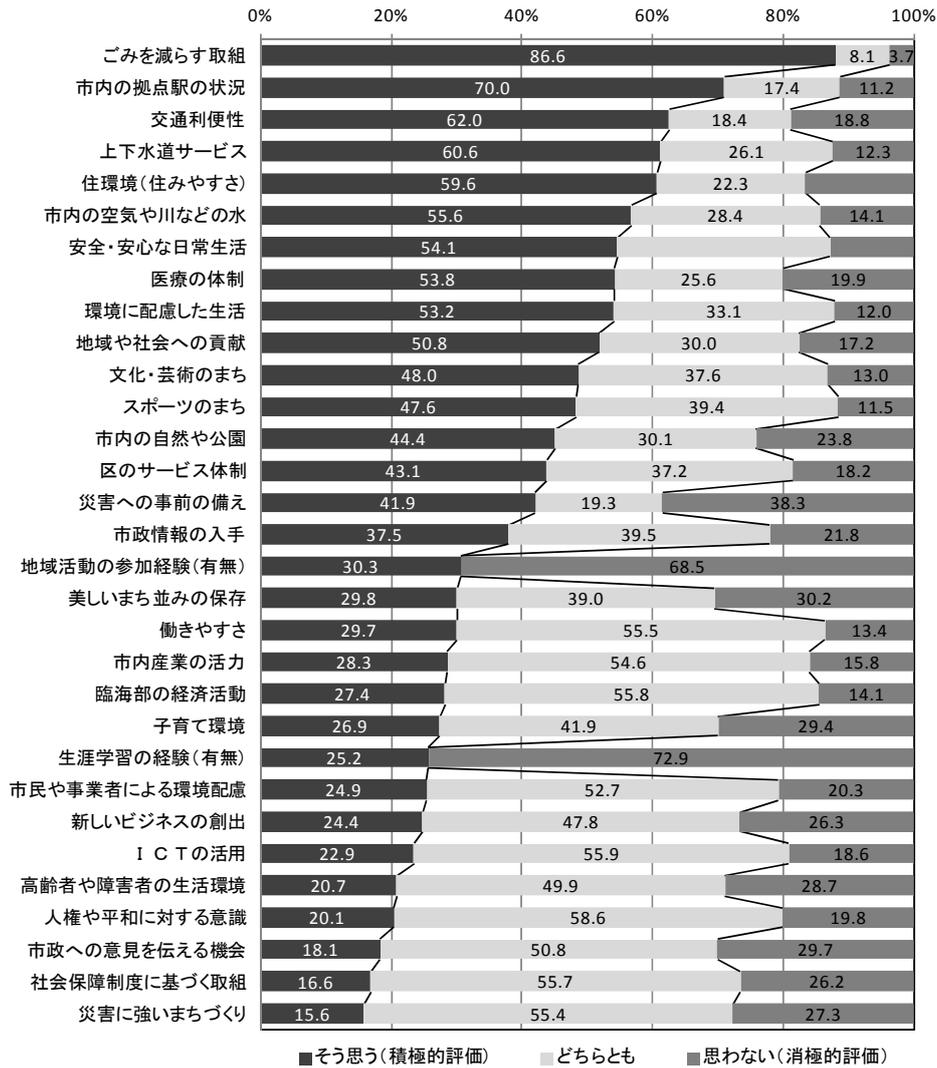
#### ■ 消極的評価と積極的評価の差

- ・『消極的評価』と『積極的評価』の差に注目すると、両者の差が大きく、市民の総体的な満足度が低いといえそうなのは、「災害に強いまちづくり」(-11.7%)、「市政への意見を伝える機会」(-11.6%)、「社会保障制度に基づく取組」(-9.6%)、「高齢者や障害者の生活環境」(-8.0%)などである。

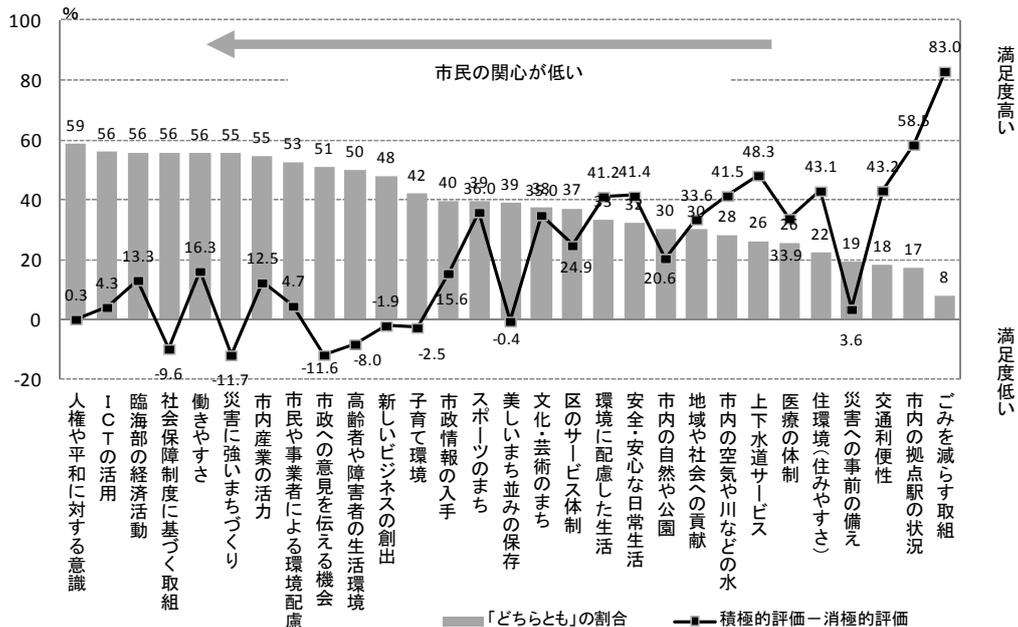
#### ■ 『どちらとも』

- ・『積極的評価』でも『消極的評価』でもない、『どちらとも』という回答の割合が高い項目は、市民の関心が低い項目と見ることができる。
- ・『どちらとも』が多いのは、「人権や平和に対する意識」(58.6%)、「ICTの活用」(55.9%)、「臨海部の経済活動」(55.8%)、「社会保障制度に基づく取組」(55.7%)、「働きやすさ」(55.5%)、「災害に強いまちづくり」(55.4%)、「市内産業の活力」(54.6%)、「市民や事業者による環境配慮」(52.7%)、「市政への意見を伝える機会」(50.8%)などであり、これらの設問については5割以上の市民が『どちらとも』と回答している。

図表 1 各設問の積極的・消極的評価の割合（積極的評価の多い順）



図表 2 「どちらとも」の割合と「積極的評価－消極的評価」の差分



図表 3 各設問の積極的・消極的評価の割合（設問順、内訳）

No.	アンケート項目	積極的評価			中間 3 (どちらとも)	消極的評価		
		1 (そう思う)	2 (やや思う)	小計 (1+2)		4 (やや 思わない)	5 (思わない)	小計 (3+4)
1	災害に強いまちづくりは進んでいると思うか	4.1	11.5	15.6	55.4	14.8	12.5	27.3
2	家庭での災害への事前の備えを行っているか	18.4	23.4	41.9	19.3	14.8	23.5	38.3
3	安全・安心な日常生活を送っていると思うか	21.9	32.1	54.1	32.3	7.3	5.4	12.7
4	上下水道サービスについて満足しているか	31.4	29.2	60.6	26.1	5.4	6.9	12.3
5	高齢者や障害者がいきいきと生活できる環境が整っていると思うか	5.0	15.7	20.7	49.9	13.8	14.9	28.7
6	社会保障制度に基づく市の取組が市民の経済的な不安の解消に役立っていると思うか	5.3	11.3	16.6	55.7	13.4	12.9	26.2
7	安心して医療を受けることができていると感じているか	22.6	31.2	53.8	25.6	10.5	9.5	19.9
8	子育て環境の整ったまちだと思うか	6.5	20.4	26.9	41.9	14.1	15.3	29.4
9	この1年間に生涯学習をしたことがあるか(有無)	25.2	-	25.2	-	72.9	-	72.9
10	自分の知識や技術を地域や社会に活かしたいと思うか	29.0	21.8	50.8	30.0	7.9	9.3	17.2
11	環境に配慮した生活を送っているか	17.2	36.0	53.2	33.1	6.4	5.6	12.0
12	市民や市内事業者による環境に配慮した取組は進んでいるか	4.9	20.0	24.9	52.7	11.0	9.2	20.3
13	市内の空気や川などの水がきれいになったと思うか	24.8	30.8	55.6	28.4	6.9	7.2	14.1
14	ごみを減らす取組を行っているか	57.7	28.9	86.6	8.1	2.3	1.3	3.7
15	市内にある自然や公園に満足しているか	16.4	28.0	44.4	30.1	12.8	11.0	23.8
16	住環境(住みやすさ)に満足しているか	24.1	35.5	59.6	22.3	8.4	8.1	16.4
17	市が働きやすいまちだと思うか	8.8	20.8	29.7	55.5	6.0	7.4	13.4
18	市内産業に活力があり、事業者が元気なまちであると思うか	7.1	21.2	28.3	54.6	9.8	6.0	15.8
19	新しいビジネスが生まれているまちだと思うか	7.0	17.4	24.4	47.8	14.6	11.7	26.3
20	ICTの活用が進んでいると思うか	5.2	17.7	22.9	55.9	10.2	8.4	18.6
21	臨海部の経済活動が盛んであると思うか	9.7	17.7	27.4	55.8	7.9	6.2	14.1
22	市内の拠点駅の周辺に魅力や活気はあると思うか	33.6	36.4	70.0	17.4	6.2	5.0	11.2
23	市内に美しいまち並みが保たれていると思うか	7.1	22.7	29.8	39.0	15.6	14.6	30.2
24	交通便利性の高いまちだと思うか	34.7	27.2	62.0	18.4	10.0	8.7	18.8
25	文化・芸術活動の盛んなまちだと思うか	15.3	32.7	48.0	37.6	8.3	4.7	13.0
26	スポーツの盛んなまちだと思うか	15.0	32.6	47.6	39.4	7.2	4.3	11.5
27	町内会や市民活動など、地域での活動に参加しているか(有無)	30.3	-	30.3	-	68.5	-	68.5
28	必要とする市政情報を得ることができていると思うか	11.4	26.1	37.5	39.5	11.5	10.4	21.8
29	市政に対する市民の意見や要望を伝える機会等を市が備えていると思うか	4.7	13.5	18.1	50.8	15.0	14.7	29.7
30	求めている行政サービスを必要ときに区で受けられていると思うか	13.1	30.0	43.1	37.2	10.5	7.7	18.2
31	市民一人ひとりの人権や平和に対する意識が高いと思うか	4.8	15.3	20.1	58.6	10.5	9.2	19.8

## 2. 他都市市民意識調査（政令市比較）

- ・全体の設問に関して、「そう思う」「やや思う」に該当する回答を『積極的評価』、「やや思わない」「思わない」に該当する回答を『消極的評価』としてまとめ、全体の傾向を把握した。

### ■ 積極的評価

- ・『積極的評価』が多いのは、川崎市では、「市内の拠点駅の状況」（73.7%）、「ごみを減らす取組」（72.6%）、「住環境（住みやすさ）」（65.9%）、「交通利便性」（61.4%）、「安全・安心な日常生活」（56.9%）、「上下水道サービス」（56.7%）などである。
- ・政令市平均では、「ごみを減らす取組」（71.4%）、「住環境（住みやすさ）」（71.4%）、「上下水道サービス」（61.2%）、「安心できる医療」（53.3%）、「安全・安心な日常生活」（50.9%）、「当市の魅力や良いイメージ」（48.7%）などである。
- ・両者を比較すると、「ごみを減らす取組」、「住環境（住みやすさ）」、「上下水道サービス」、「安全・安心な日常生活」といった生活環境に関する項目は共通している。
- ・一方、違いに着目すると、川崎市は、「市内の拠点駅の状況」や「交通利便性」といった利便性に関する項目が相対的に上位に挙がっており、「安心できる医療」「当市の魅力や良いイメージ」といった項目は相対的に順位が低い。

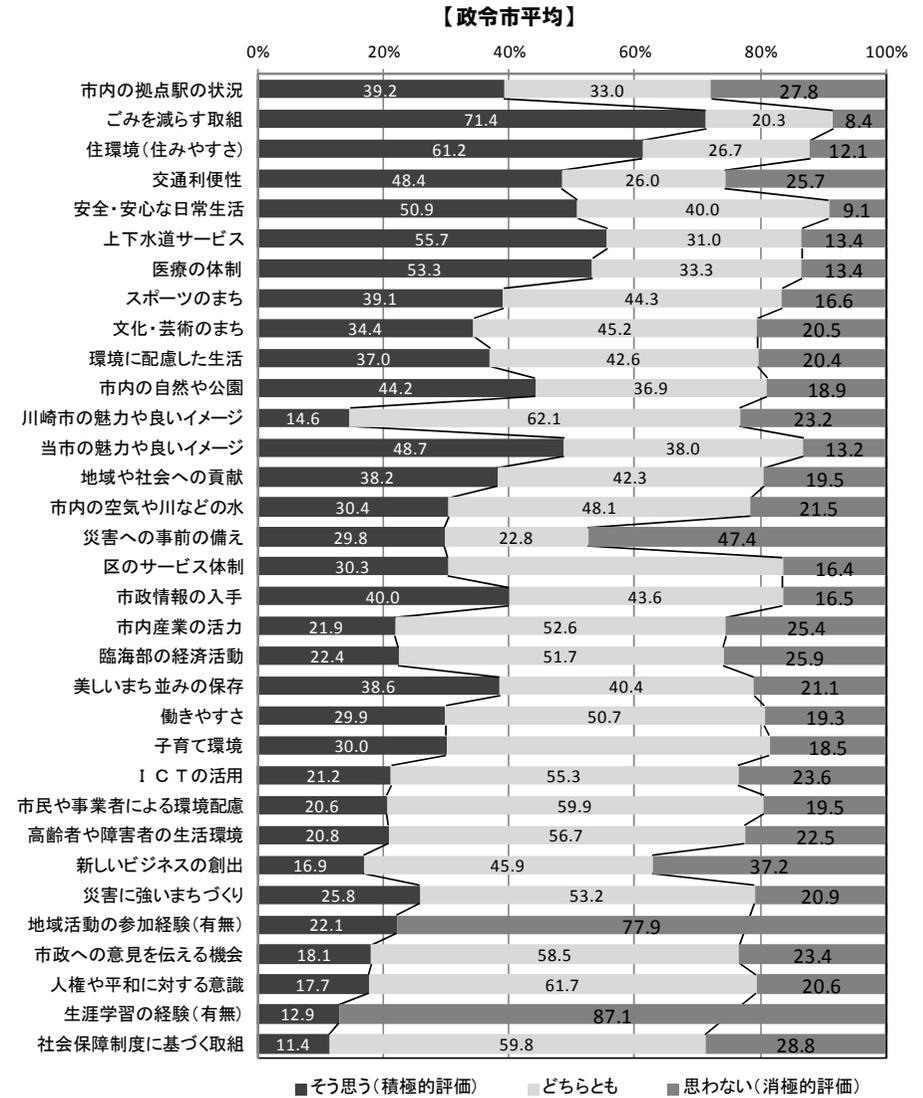
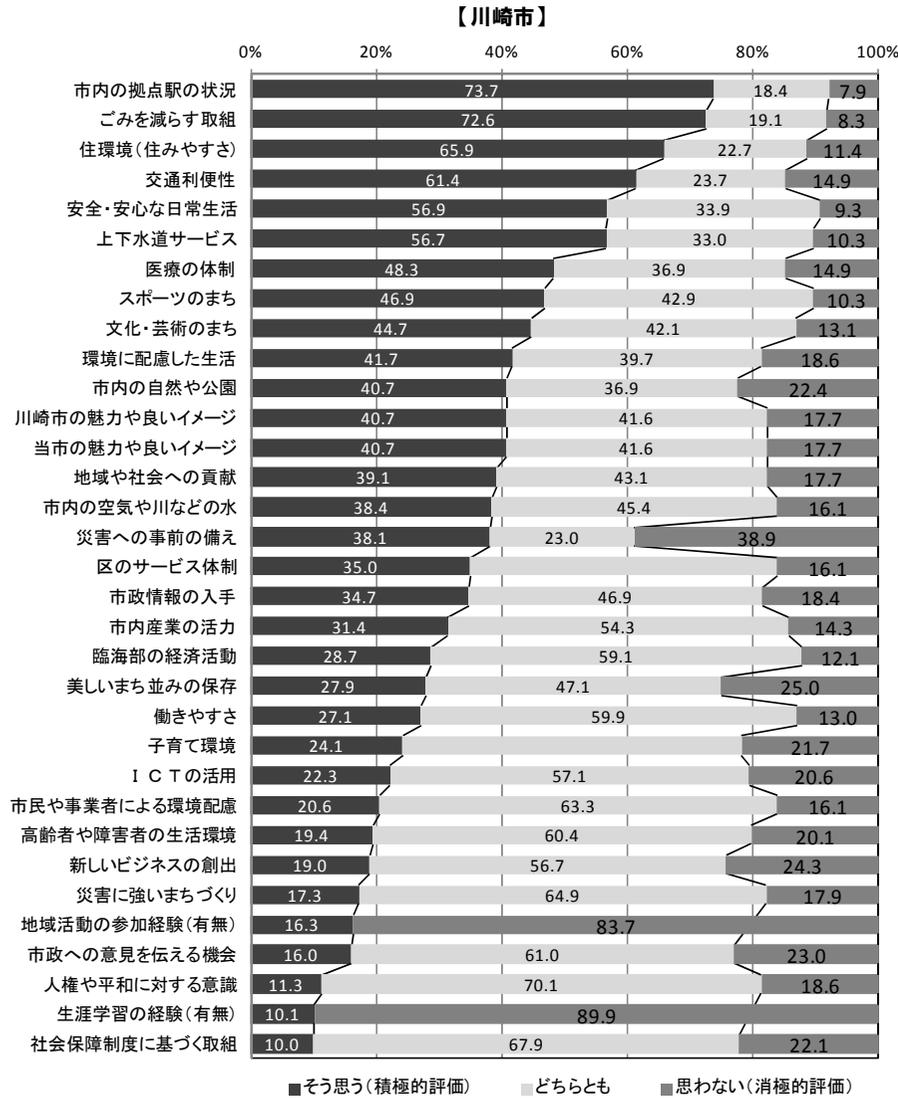
### ■ 消極的評価

- ・『消極的評価』が多いのは、川崎市では、「災害への事前の備え」（38.9%）、「美しいまち並みの保存」（25.0%）、「新しいビジネスの創出」（24.3%）、「市政への意見を伝える機会」（23.0%）、「市内の自然や公園」（22.4%）などである。
- ・政令市平均では、「災害への事前の備え」（47.4%）、「新しいビジネスの創出」（37.2%）、「社会保障制度に基づく取組」（28.8%）、「市内の拠点駅の状況」（27.8%）、「臨海部の経済活動」（25.9%）である。
- ・両者を比較すると、「災害への事前の備え」、「新しいビジネスの創出」などが共通している。
- ・一方、違いに着目すると、川崎市は、「美しいまち並みの保存」、「市内にある自然や公園」といった自然環境や景観に関する項目や、「市政への意見を伝える機会」といった広聴に関する項目の評価が相対的に低い。
- ・その他、政令市平均で『消極的評価』の上位に位置する「市内の拠点駅の状況」や「交通利便性」などの都市の利便性やにぎわいに関する項目については、逆に川崎市では『積極的評価』の上位に挙がっており、これらは川崎市が他の政令市に比べて優位な要素と捉えることができる。

### ■ 『どちらとも』

- ・『積極的評価』でも『消極的評価』でもない、『どちらとも』という回答の割合が高い項目は、市民の関心が低い項目と見ることができる。
- ・『どちらとも』が多いのは、川崎市では、「人権や平和に対する意識」（70.1%）、「社会保障制度に基づく取組」（67.9%）、「災害に強いまちづくり」（64.9%）、「市民や事業者による環境配慮」（63.3%）、「市政への意見を伝える機会」（61.0%）、「高齢者や障害者の生活環境」（60.4%）などである。
- ・一方で政令市平均では、「川崎市の魅力や良いイメージ」（62.1%）、「人権や平和に対する意識」（61.7%）、「市民や事業者による環境配慮」（59.9%）、「社会保障制度に基づく取組」（59.8%）などである。

図表 4 各設問の積極的・消極的評価の割合（川崎市・政令市平均、川崎市の積極的評価の多い順）



図表 5 各設問の積極的・消極的評価の割合（川崎市・政令市平均、設問順、内訳）

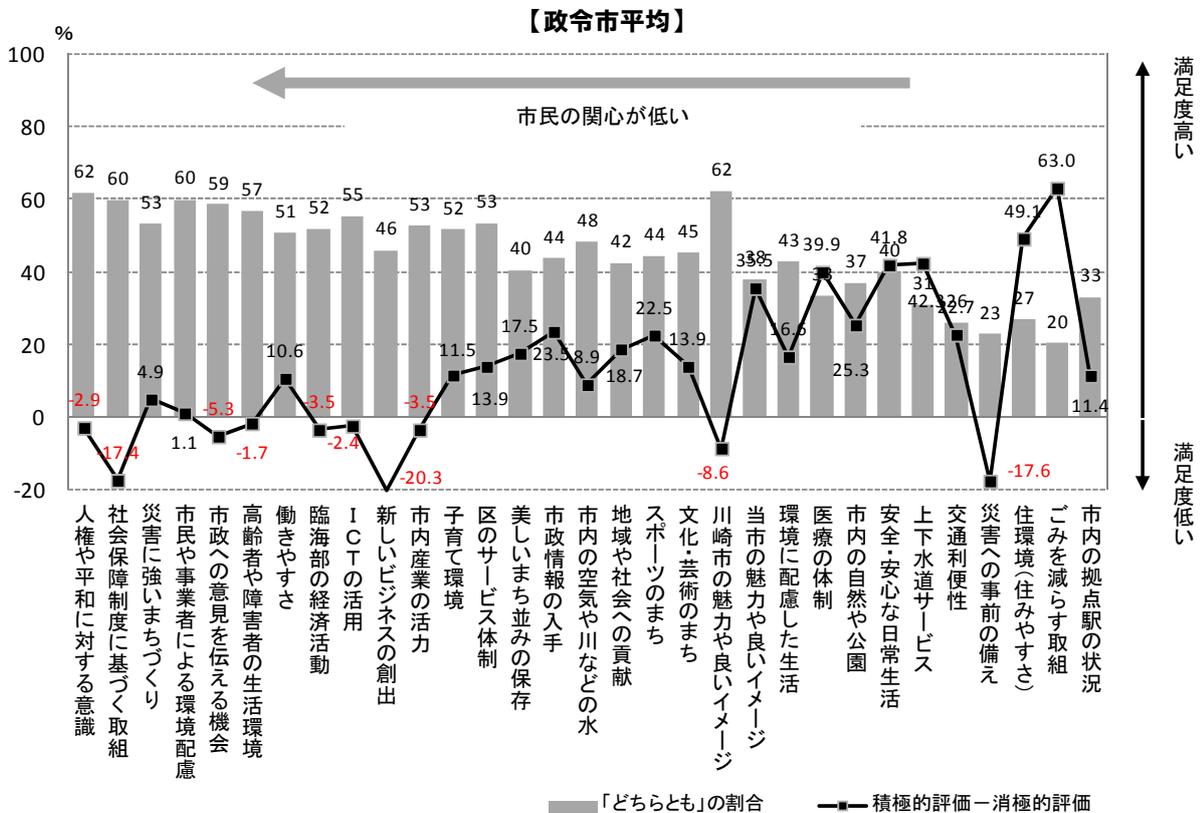
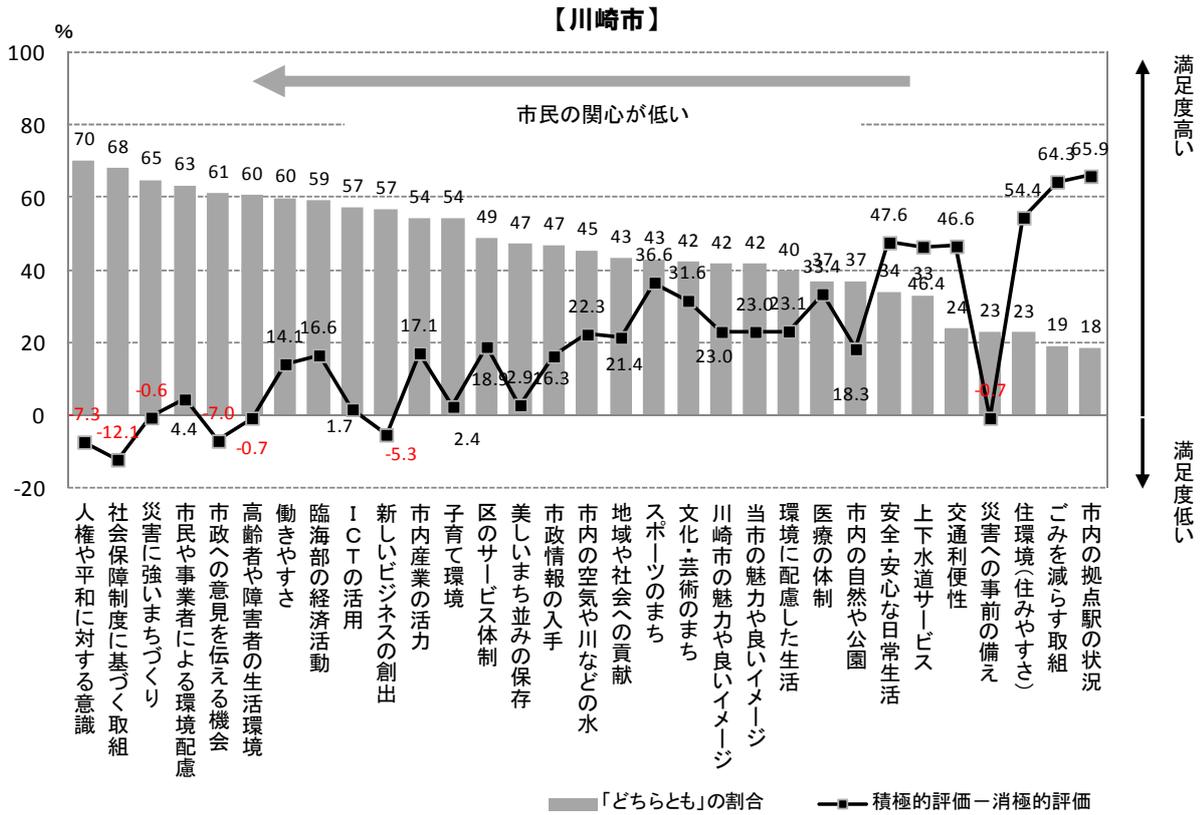
No	アンケート項目	川崎市							政令市平均						
		積極的評価			中間	消極的評価			積極的評価			中間	消極的評価		
		1 (そう思う)	2 (ややそう思う)	小計 (1+2)	3 (どちらとも)	4 (やや思わない)	5 (思わない)	小計 (4+5)	1 (そう思う)	2 (ややそう思う)	小計 (1+2)	3 (どちらとも)	4 (やや思わない)	5 (思わない)	小計 (4+5)
1	災害に強いまちづくりは進んでいると思うか	3.1	14.1	17.3	64.9	11.6	6.3	17.9	4.9	20.9	25.8	53.2	12.9	8.0	20.9
2	家庭での災害への事前の備えを行っているか	12.1	26.0	38.1	23.0	16.6	22.3	38.9	9.0	20.8	29.8	22.8	18.0	29.4	47.4
3	安全・安心な日常生活を送っていると思うか	14.3	42.6	56.9	33.9	6.1	3.1	9.3	13.3	37.6	50.9	40.0	6.0	3.1	9.1
4	上下水道サービスについて満足しているか	21.4	35.3	56.7	33.0	6.6	3.7	10.3	25.6	30.1	55.7	31.0	7.8	5.6	13.4
5	高齢者や障害者がいきいきと生活できる環境が整っていると思うか	2.7	16.7	19.4	60.4	13.0	7.1	20.1	3.5	17.3	20.8	56.7	14.0	8.5	22.5
6	社会保障制度に基づく市の取組が市民の経済的な不安の解消に役立っていると思うか	1.7	8.3	10.0	67.9	14.9	7.3	22.1	1.8	9.6	11.4	59.8	16.3	12.5	28.8
7	安心して医療を受けることができると感じているか	12.1	36.1	48.3	36.9	9.3	5.6	14.9	15.2	38.1	53.3	33.3	8.3	5.1	13.4
8	子育て環境の整ったまちだと思うか	4.3	19.9	24.1	54.1	11.4	10.3	21.7	6.4	23.6	30.0	51.5	11.7	6.8	18.5
9	この1年間に生涯学習をしたことがあるか(有無)	10.1	-	10.1	-	89.9	-	89.9	12.9	-	12.9	-	87.1	-	87.1
10	自分の知識や技術を地域や社会に活かしたいと思うか	13.4	25.7	39.1	43.1	9.4	8.3	17.7	12.3	25.9	38.2	42.3	10.4	9.1	19.5
11	環境に配慮した生活を送っているか	9.1	32.6	41.7	39.7	12.1	6.4	18.6	7.3	29.7	37.0	42.6	11.9	8.5	20.4
12	市民や市内事業者による環境に配慮した取組は進んでいるか	3.1	17.4	20.6	63.3	10.6	5.6	16.1	2.8	17.8	20.6	59.9	12.4	7.1	19.5
13	市内の空気や川などの水がきれいになったと思うか	11.7	26.7	38.4	45.4	9.1	7.0	16.1	7.7	22.7	30.4	48.1	12.5	9.0	21.5
14	ごみを減らす取組を行っているか	37.0	35.6	72.6	19.1	5.0	3.3	8.3	34.9	36.5	71.4	20.3	4.9	3.5	8.4
15	市内にある自然や公園に満足しているか	9.1	31.6	40.7	36.9	14.3	8.1	22.4	13.3	30.9	44.2	36.9	12.0	6.9	18.9
16	住環境(住みやすさ)に満足しているか	19.7	46.1	65.9	22.7	8.0	3.4	11.4	19.2	42.0	61.2	26.7	7.7	4.4	12.1
17	市が働きやすいまちだと思うか	5.0	22.1	27.1	59.9	8.3	4.7	13.0	6.7	23.2	29.9	50.7	11.5	7.8	19.3
18	市内産業に活力があり、事業者が元気なまちであると思うか	5.9	25.6	31.4	54.3	10.6	3.7	14.3	4.1	17.8	21.9	52.6	16.6	8.8	25.4
19	新しいビジネスが生まれているまちだと思うか	3.4	15.6	19.0	56.7	16.7	7.6	24.3	3.5	13.4	16.9	45.9	21.7	15.5	37.2
20	ICTの活用が進んでいると思うか	3.3	19.0	22.3	57.1	13.3	7.3	20.6	3.9	17.3	21.2	55.3	14.4	9.2	23.6
21	臨海部の経済活動が盛んであると思うか	6.9	21.9	28.7	59.1	8.3	3.9	12.1	5.6	16.8	22.4	51.7	15.1	10.8	25.9
22	市内の拠点駅の周辺に魅力や活気はあると思うか	30.9	42.9	73.7	18.4	4.9	3.0	7.9	11.2	28.0	39.2	33.0	16.0	11.8	27.8
23	市内に美しいまち並みが保たれていると思うか	4.1	23.7	27.9	47.1	15.3	9.7	25.0	8.6	30.0	38.6	40.4	13.4	7.7	21.1
24	交通利便性の高いまちだと思うか	27.1	34.3	61.4	23.7	9.1	5.7	14.9	18.6	29.8	48.4	26.0	13.7	12.0	25.7
25	文化・芸術活動の盛んなまちだと思うか	9.9	34.9	44.7	42.1	8.0	5.1	13.1	8.5	25.9	34.4	45.2	12.6	7.9	20.5
26	スポーツの盛んなまちだと思うか	11.7	35.1	46.9	42.9	7.0	3.3	10.3	10.0	29.1	39.1	44.3	10.6	6.0	16.6
27	川崎市に魅力や良いイメージがあると感じるか	8.0	32.7	40.7	41.6	12.0	5.7	17.7	3.1	11.5	14.6	62.1	14.1	9.1	23.2
28	住まいの市に魅力や良いイメージがあるか	8.0	32.7	40.7	41.6	12.0	5.7	17.7	13.2	35.5	48.7	38.0	8.2	5.0	13.2
29	町内会や市民活動など、地域での活動に参加しているか(有無)	16.3	-	16.3	-	83.7	-	83.7	22.1	-	22.1	-	77.9	-	77.9
30	必要とする市政情報を得ることができていると思うか	6.0	28.7	34.7	46.9	12.1	6.3	18.4	7.8	32.2	40.0	43.6	10.1	6.4	16.5
31	市政に対する市民の意見や要望を伝える機会等を市が備えていると思うか	2.1	13.9	16.0	61.0	15.0	8.0	23.0	3.0	15.1	18.1	58.5	13.8	9.6	23.4
32	求めている行政サービスを必要ときに区で受けられていると思うか	6.9	28.1	35.0	48.9	10.6	5.6	16.1	5.2	25.1	30.3	53.3	10.2	6.2	16.4
33	市民一人ひとりの人権や平和に対する意識が高いと思うか	1.7	9.6	11.3	70.1	11.9	6.7	18.6	3.4	14.3	17.7	61.7	13.1	7.5	20.6

[単位：%]

図表 6 積極的評価・消極的評価の上位5位の項目（川崎市・政令市平均）

順位	積極的評価		消極的評価	
	川崎市	政令市平均	川崎市	政令市平均
1位	市内の拠点駅の状況 (73.7%)	ごみを減らす取組 (71.4%)	災害への事前の備え (38.9%)	災害への事前の備え (47.4%)
2位	ごみを減らす取組 (72.6%)	住環境（住みやすさ） (61.2%)	美しいまち並みの保 存（25.0%）	新しいビジネスの創 出（37.2%）
3位	住環境（住みやすさ） (65.9%)	上下水道サービス (61.2%)	新しいビジネスの創 出（24.3%）	社会保障制度に基づ く取組（28.8%）
4位	交通利便性（61.4%）	医療の体制（53.3%）	市政への意見を伝え る機会（23.0%）	市内の拠点駅の状況 (27.8%)
5位	安全・安心な日常生活 (56.9%)	安全・安心な日常生活 (50.9%)	市内の自然や公園 (22.4%)	臨海部の経済活動 (25.9%)
6位	上下水道サービス (56.7%)	当市の魅力や良いイ メージ（48.7%）	社会保障制度に基づ く取組（22.1%）	交通利便性（25.7%）

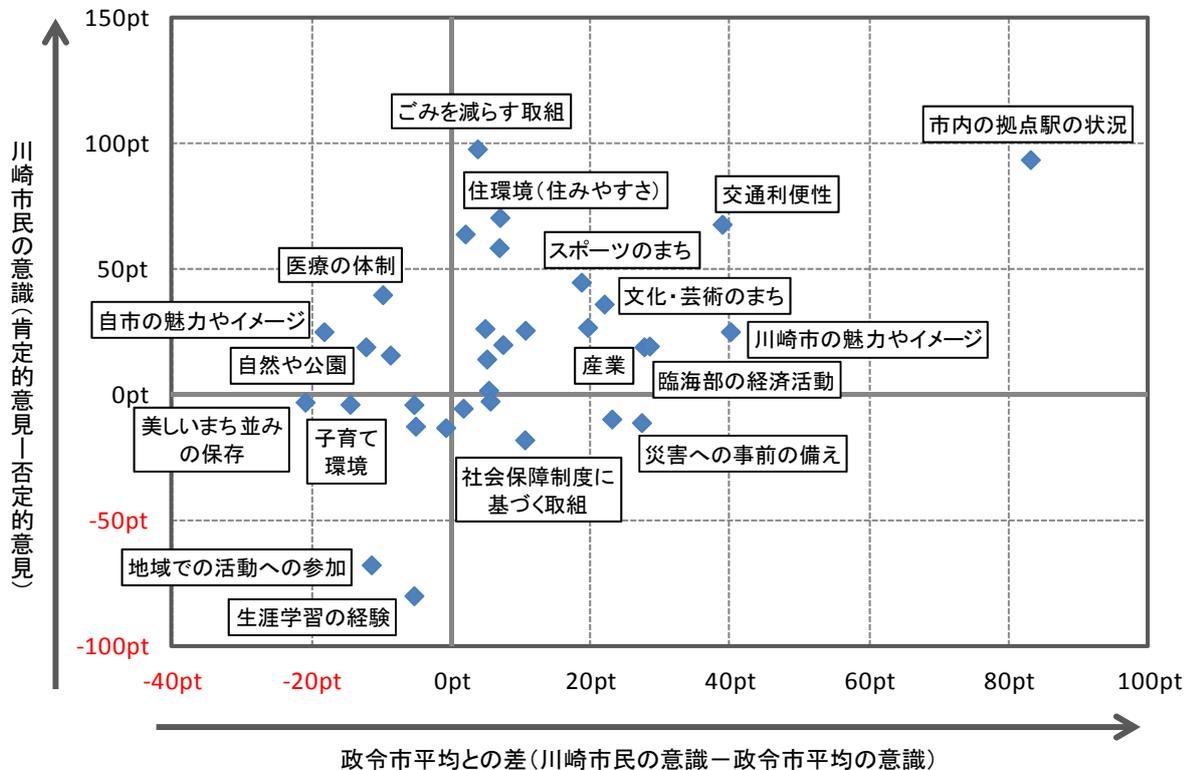
図表 7 「どちらとも」の割合と「積極的評価－消極的評価」の差分



### 3. 川崎市と政令市平均との比較

- 各設問の回答について、「そう思う」「満足している」などの強い肯定的な意見を 2 点、「ややそう思う」「やや満足している」などの弱い肯定的な意見を 1 点、「どちらともいえない」を 0 点、「そう思わない」「不満である」などの強い否定的な意見を-2 点、「あまりそう思わない」「やや不満である」などの弱い否定的意見を-1 点として点数化した。
- それらを、縦軸に「川崎市民の意識」（川崎市民における点数）、横軸に「政令市平均との差」（川崎市民における点数－政令市平均の点数）を取ったマトリクスにプロットしたものが下の図である。
- 川崎市民が自市の強みであると考えており、かつ他の政令市と比較しても優位にあるのは、右上の象限にプロットされている「市内の拠点駅の状況」「交通利便性」といった利便性に関する項目、「スポーツのまち」「文化・芸術のまち」といったまちのイメージに関する項目、「産業」「臨海部の経済活動」といった経済・産業に関する項目、「住環境（住みやすさ）」「ごみを減らす取組」といった環境に関する項目である。ただし、「川崎市の魅力やイメージ」に関しては、川崎市民における評価は高いものの、他の政令市の市民からの評価はそれほど高くない、という内外のギャップがあることに注意を要する。
- 一方、川崎市民が自市の弱みであると考えており、かつ他の政令市と比較しても劣位にあるのは、左下の象限にプロットされている「地域での活動への参加」「生涯学習の経験」といった自主的な活動に関する項目や、「美しいまち並みの保存」といった景観に関する項目、「子育て環境」といった子育てに関する項目などである。

図表 8 川崎市と政令市平均との比較



# 新たな総合計画に関する市民意識調査

## 報告書【概要版】

平成27年7月

発行 川崎市総合企画局都市経営部企画調整課

調査受託者 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社